

[宮崎演習林]A. 前年度より引き続きおこなっている 試験調査：スギザイノタマバエに関する研究

汰木, 達郎
九州大学農学部附属演習林：助教授

荒上, 和利
九州大学農学部附属演習林：教務員

椎葉, 康喜
九州大学農学部附属演習林：林業手

<https://doi.org/10.15017/1462114>

出版情報：演習林研究経過報告．昭和46年度，pp.148-149，1972．九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：



これから樹種別には前年と同じく、アカマツ、モミ、ツガの順で生長がよい。月別にみても広葉樹と同様5，6月に生長をおこない、また、冬季の収縮もほとんどみられない。

A-2 スギザイノタマバエに関する研究

昭和46年4月から47年3月までの調査結果を下表に示す。

年 月 日	ア カ	シ ロ	サ ナ ギ	ヌ ゴ ガ ラ	死 虫	合 計
46. 4. 7	68	3	0	1	96	168
21	67	0	0	10	107	184
5. 6.	79	0	0	31	114	224
21	65	0	51	5	79	200
6. 2	43	0	23	6	44	116
16	69	21	29	30	59	208
30	27	48	0	93	65	233
7.14	59	30	2	44	59	194
28	153	165	0	0	48	366
8.11	111	158	0	6	43	318
25	81	0	12	14	37	148
9. 8	56	0	0	2	19	79
22	64	0	0	0	33	97
10. 6	47	4	0	3	15	69
20	70	0	0	0	18	88
11. 4	60	0	0	0	13	73
17	150	0	0	0	10	170
12. 1	125	00	0	0	15	140
15	146	00	0	0	37	183
29	115	00	0	0	51	146
47. 1.12	88	88	0	0	16	112
26	132	00	0	0	38	170
2.10	92	00	0	0	19	111
23	88	00	0	2	24	114
3. 8	112	00	0	2	41	155
22	119	00	0	1	52	172

年 月 日	成 虫 数	年 月 日	成 虫 数	年 月 日	成 虫 数	年 月 日	成 虫 数
4 6. 4. 7	23	4 6. 7. 7	517	4 6. 10. 6	109	4 7. 2. 2	1
14.	35	14	339	13	48	10	0
21	31	21	187	20	145	16	0
28	37	28	130	27	261	23	0
5. 6	165	8. 4	53	11. 4	52	3. 1	0
12	83	11	30	10	14	8	7
19	110	18	92	17	10	15	31
26	207	25	387	24	6	23	31
6. 2	386	9. 1	調査不能	12. 1	5	29	29
9	213	8	925	1 8	2		
16	287	15	636				
23	698	22	246				
30	1,011	29	170	この間	0		

この調査結果をみると、5月下旬からのサナギの発生、6月下旬の白虫の発生、7月の赤虫の増加、また成虫については6月下旬の増加、9月中旬の増加と前年とほぼ同じ経過である。

A-3 モミ稚樹発生及消滅本数調査

前年に引き続き昭和46年4月から47年3月までの発生及消滅本数を下表に示す。

() 内本数は試験地設定時の稚樹

	昭和46.4現在数	消滅本数	発生数	昭和47.3現在数
A 1.	12 (10)	7 (5)	1	6
2.	22 (12)	6 (4)	2	18
3.	7 (7)	2 (2)	1	6
B 1.	41 (33)	1 ()	8	48
2.	73 (47)	7 (1)	5	71
3.	21 (11)	10 (7)	3	14
C 1.	38 (14)	21 (11)	0	17
2.	21 (12)	1 (1)	1	21
3.	33 (26)	9 (6)	0	24